

2018年3月5日

いすゞ、栃木工場内に小型トラック向けエンジン工場を新設

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下いすゞ)は、栃木工場内に、小型トラック向け新型ディーゼルエンジンの生産を行う新しい工場を新設し、このたび生産を開始しました。

この新工場では、国内市場向け小型トラック「エルフ」に搭載する、平成28年排出ガス規制に対応した新型エンジンの生産を行います。栃木工場では、従来より大型及び中型トラック搭載用のエンジンを生産しておりますが、これにより国内市場向け小型トラック用エンジンの生産が加わることとなります。尚、海外市場向け小型トラック用のエンジンについては、引き続き藤沢工場にて生産してまいります。

新エンジン工場は、スマート工場としてIoTの活用による徹底した品質管理や、セル生産方式(複数の工程をグループ化)採用での生産性向上を図るとともに、加工ライン飛散物回収システム導入による臭いや汚れの低減化や作業負荷軽減を狙ったフロアのフルフラット化、工場内照明の全灯LED化など、人に優しくクリーンで、かつ環境負荷の少ない最新の工場となっています。

いすゞは、これからも高品質なものづくりを通じ、お客様の「運ぶ」を支えてまいります。



【新工場】

(1)名称	いすゞ自動車株式会社 栃木第三工場
(2)所在地	栃木工場敷地内
(3)事業内容	国内市場向け小型トラック「エルフ」搭載用エンジン生産 (平成 28 年排出ガス規制対応)
(4)延床面積	約 62,500m ²

【栃木工場概要】

(1)名称	いすゞ自動車株式会社 栃木工場
(2)所在地	栃木県栃木市大平町伯仲 2691 番地
(3)事業内容	エンジン・部品生産
(4)従業員数	1,136 人
(5)土地面積	約 1,120,500m ²
(6)建物面積	約 186,000m ²

以上